

令和5年9月20日 発行

本部だより

全国公立小・中学校女性校長会
会長 宮崎 朋子

〒105-0003 東京都港区西新橋1-22-13 全日本中学校長会館302号
TEL03-3502-0313 FAX03-3502-0075 E-mail:queen@m9.dion.ne.jp

第73回全国公立小・中学校女性校長会 全国研究協議大会 山口大会

令和5年8月3日(木)・4日(金) 会場:山口市 かめ福オンプレイス ホテルニュータナカ



開会式 会長挨拶

全国公立小・中学校女性校長会
会長 宮崎 朋子

挨拶に先立ちまして、今年は豪雨による被害が各地で相次ぎました。被害に遭われました方々に心よりお見舞いを申し

上げますとともに、平穏な日々が一日も早く戻ってくることを祈念いたします。

本日、第73回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会を「西の京」と呼ばれる美しい街並みの山口県山口市においてこのように盛大に開催できますこと、誠にありがたく、厚く御礼申し上げます。

また、開会式に公務御多用の中、文部科学省初等中等教育局視学官 菅野和彦様、山口県知事 村岡嗣政様、山口県教育委員会教育長 繁吉健志様、山口市長 伊藤和貴様をはじめ、御臨席を賜りました御来賓の皆様、また、開催にあたり、力強い御協力・御支援を頂戴いたしました関係機関の皆様にご心より感謝し、御礼申し上げます。

本会は、多くの諸先輩方の御努力により、女性校長の地位の向上、人材育成を図りながら、学校教育の振興に寄与してまいりました。昭和26年、80名でスタートした当時、女性校長に過酷とも言える厳しい社会状況の中にあって、「同志よ弱らないで、誠実は奇跡を生む。」と励まし合い、助け合い、知性・感性・品性を大切にしながら、世の信頼を得てまいりました。以来その意志や活動が連綿と引き継がれ、今日ここに第73回全国研究協議大会を開催するに至りました。

本年は4年ぶりの対面での開催となります。過去三大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、対面での開催は控えてまいりました。しかし、紙面開催・オンデマンド開催など様々な方法を試み、大会を継続してまいりました。大会開催県の皆様のご御努力には感服するばかりです。これは、「学びを止めない」という言葉を、私達女性校長が率先して実践してきたことだと自負しております。本大会では、様々な英知を駆使してこの4年間を過ごしてきた本会の皆様が一堂に会し、学校経営のより一層の充実につながる深い学びがあることを確信しております。

さて、先日7月4日に文部科学省から「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」が示され、現時点での生成AIの活用を判断する際の参考資料として公表されました。AIの効果的な活用としては、子供たちの話し合い活動の場で足りない視点を求めること、英

会話の相手として活用すること、AIの回答が間違いの場合もあることを知らせるなどの情報モラル教育があり、よくない活用例としては、テストで使うこと、AIが作成したものを自分の作品として提出することなどがあるとされています。また、保護者アンケートによると、子供に思考力・記述力が身に付かなくなることが心配だと44.4%の保護者が生成AIへの危惧を示しているといわれる実態も考慮しなければなりません。

AIは蓄積されたデータを元に、求められた内容を提示します。AI自体に意志や創造性があるわけではなく、人間が作り上げたプログラムの範囲内での創作です。従って、今のところAIは人間の力を超えるものではありません。私達が学校教育で育てていく子供たちには、AIを道具として使用し、新たな未知なるものを作り出す発想力や想像力、そして、豊かな感性などを身に付けさせていくことが必要です。変化に対応する柔軟性を持ち、成長し続ける子供を育ててまいりましょう。また、子供たちにそのような力を直接身に付けさせていくのが教員です。この点が30年後もなくならない仕事として小・中学校の教員が挙げられているゆえんです。変化していく未来を見据え、必要な力を伸ばすことができる教員の育成は私達校長にとって最も重要な仕事です。優れた教員の育成にリーダーシップを発揮し、未来社会を担う人材を育てていくという、この仕事の尊さや責任の重さを確かめながら学校改革に取り組んでまいりましょう。

ここ、山口県は明治維新胎動の地として名を馳せており、名だたる志士を輩出し、激動の時代の中心となった地です。古からの志が脈々と受け継がれている山口県において、私達女性校長は、本会の研究主題「自ら未来を切り拓き 共によりよい社会を作る日本人を育成する学校教育の推進」副主題「高い志を持ち、つながりを生かしてしなやかに生き抜く子供を育む学校経営」を目指し、研修を深めてまいりましょう。

私達の会の果たすべき重要な役割に、一人一人、個性と能力を充分発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、女性教員の活躍の場の拡大と女性管理職の育成及び登用の促進を図ることがあります。意欲と行動力のある女性教員を育て、管理職として活躍できる人材を育成してまいりましょう。

結びにあたり、正木郁子 山口県女性校長会会長、富田紀子 大会実行委員長をはじめ、山口県実行委員会の皆様のご3年に及ぶきめ細やかな御準備に対しまして、深く感謝申し上げます。御出席くださいました皆様にとりまして、山口大会が学校経営に資する多くの示唆に富んだ深い学びの場になりますことを祈念し、挨拶といたします。

理事会 会長挨拶

今年、理事会、総会、研究協議大会と久しぶりに対面で行うことになりました。

この理事会は、本会の令和5年度の活動方針や事業計画、予算などについて、御審議いただき、御理解・御協力を得るとともに、本会の活動をより活性化させ、発展させるための御意見を頂戴する場でもあります。限られた時間ではありますが、有意義な一時になれば幸いです。

さて、今年4月に「こども基本法」が施行され、「こども家庭庁」が設置されました。子供の幸福な成長を促進することが目的です。子供の年齢を制限しておらず、子供や若者が円滑に社会生活を送ることができるようになるまで支援していくことが記されています。この「こども基本法」の理念と目的を実現するための視点をもって、私達は学校経営を行っていかねばならないと考えております。すべての子供たちが地理的、経済的、社会的な条件に関係なく公平に学校教育を受けられるようにすること、つまり、一人も取り残さない教育の実践です。地理的・経済的な困難さへの対応ではオンライン環境を整え、日本中どこでも一定の学習環境を提供できるようにすることも効果的な方法だと言われています。四人に一人は自分の親を毒親だと認識しているという実態もあると伝えられ(株式会社serendipity調べ)、ヤングケアラーなど家庭環境が不安定な状況下で暮らす子供たちも増えています。この対応としては、相談体制の充実・地域コミュニティのサポート体制の確立などが必要となります。個別のニーズに即した教育を提供し、多様性に富んだ学校経営を目指さなければなりません。

また、教員の働き方改革の推進も重要な課題です。学校現場の労働環境の改善を図ること、教員が教育に集中できるような業務サポート体制の確立、部活動指導をはじめとした地域資源の活用、男性の育児休業取得など教職員が柔軟な働き方を選択できる環境整備を行い、教職員が働きやすい職場を作らなければならない現状です。従来は、女性の働き方を男性の働き方に近づけてきましたが、これからは、この逆、女性の働き方に男性の働き方を近づけるべきであるとも言われています。

これらに対して、私達女性校長は明確なビジョンをもち、一人一人の子供たちと教職員の幸福と成長を追求する学校を作るためにリーダーシップを発揮してまいりましょう。本大会を通して、全国の会員の皆様との絆を深め、学びを通して、お一人お一人の学校経営をより一層豊かなものにしていただきたく存じます。

本会が発行しております「活動状況報告」によりますと、会員数が5000人を超えました。大変喜ばしいことですが、まだまだ地域格差は否めません。2023年度のジェンダー・ギャップ指数において日本は146か国中125位でG7主要7か国中最下位であるという現実もしっかりと見つめなければなりません。今も一般企業などにおける男女差は、私達の教育現場からは想像できない厳しさがあります。国会議員が女性議員で研究会を立ち上げたり、経済界では女性経営者を支援する女性の会が作られていたり、女性同士で協力し、支援し合う場所が必要であるのが日本社会の現状です。私達は、女性管理職登用に向けてますます力を結集し、真の男女共同参画社会の実現に向けて、教育を通して、女性リーダーの活躍の場を広げ、私達一人一人が後に続く女性教員や社会全体で活躍する女性のリーダーを育成してまいりましょう。

結びに、山口大会にむけて、計画的に周到な準備を進めてこられました、正木郁子 山口県女性校長会会長、富田紀子 大会実行委員長をはじめ、山口県実行委員会の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、全国からお集まりいただきました会員の皆様にご山口大会の二日間を満足していただけるよう、理事の皆様のご協力をお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

報告事項

- 1 令和4年度事業報告…………… 庶務部長 山口祐美子
事業計画に従って、事業は順調に進行した。
- 2 令和4年度決算報告…………… 会計部長 井口美由紀
順調に執行した。
- 3 令和4年度監査報告…………… 監査 磯田かおり
監査の結果、帳簿・領収書など適正に処理されている。

協議事項

- 1 令和5年度活動方針案審議…………… 対策部長 江口千穂
校長の職責の重大さを自覚し、より一層研鑽に励み、組織の充実・発展と活動方針の具現化に努めることを目指し活動方針が検討され、承認された。
- 2 令和5年度事業計画案審議…………… 庶務部長 山口祐美子
第73回山口大会、理事会(年間2回)の開催、本部会の役割、会報及び本部だより、活動状況報告の発行等、会計、渉外について提案・承認された。

3 令和5年度予算案審議…………… 会計部長 井口美由紀
令和5年度予算案について、提案・承認された。

4 全国研究協議大会開催・発表 地区・県について…………… 対策部副部長 川辺 章絵

	5年度（山口）	6年度（北海道）	7年度（東京）	8年度（青森）	9年度（九州）
1-1	愛知	岡山	鳥取	東京	（中学部）
1-2	東京	中学部・広島	中学部・北海道	中学部・東京	（東北）
2-1	中学部・三重	福島	沖縄	千葉	（四国）
2-2	山形	鹿児島	群馬	高知	（近畿）
3-1	神奈川	愛媛	奈良	岐阜	（北海道）
3-2	香川	滋賀	富山	北海道	（中国）

5 令和5年度 第73回 山口大会について…………… 山口県理事 富田 紀子
令和5年8月3日（木）・4日（金）に開催される山口大会は、494名の申込・参加となった。

大会主題「自ら未来を切り拓き、共によりよい社会を創る日本人を育成する学校教育の推進」を受け、副主題として「高い志をもち、つながりを生かしてしなやかに生き抜く子供を育む学校経営」を設定し、テーマに沿った3分科会により、各分科会主題および分散会協議題について提案・議論を通して主題に迫ることとした。

以上の提案がされ、承認された。

6 令和6年度 第74回 北海道大会について…………… 北海道理事 鈴木真由美
令和6年8月1日（木）・2日（金）に開催される北海道大会の主題・副主題、分科会主題・分散会協議題、記念公演等の大会実施計画案が提案され、承認された。

7 令和7年度 第75回 東京大会について…………… 東京都理事 山口 麻衣
令和7年7月31日（木）・8月1日（金）に開催される東京大会の素案が提案され、承認された。

選考委員会の報告

代表理事の承認を得て、東京都代表理事山口麻衣選考委員長より令和6年度副会長選出地区について報告され、承認された。

その後、山口祐美子庶務部長より令和6・7年度の監査について、報告され、承認された。

令和6年度 副会長選出地区	関東地区 北海道地区 東京地区
令和6・7年度 監査選出地区	九州地区

報告・連絡事項

- | | | |
|-----------------------------|------|-------|
| (1) 各都道府県の活動状況調査依頼について…………… | 対策部 | 松本 麻巳 |
| (2) 地区大会について…………… | 対策部 | 四家 薫 |
| (3) 会報第115号について…………… | 研修部長 | 清水 聡美 |
| (4) 会報第116号について…………… | 広報部長 | 金敷美由紀 |
| (5) ホームページについて…………… | 対策部 | 川辺 章絵 |
| (6) 表彰状の贈呈について…………… | 対策部 | 松下由美子 |

地区情報交換

各代表理事より各地区の活動状況が報告された。

令和5年度 全国公立小・中学校女性校長会活動方針

全国公立小・中学校女性校長会は、結成以来義務教育の充実・発展に努めるとともに女性管理職の育成並びに女性教員の資質の向上や活躍の場の拡大を目指し、たゆみない研究と実践を重ね、今年73年目を迎えた。その成果は我が国における女性管理職の登用と女性の社会進出に大きく寄与している。教育改革推進と男女共同参画社会の更なる促進に向けて女性校長に寄せられる期待は大きく、それに応えていくことが本会の使命である。

今日、情報化、グローバル化、技術革新等により、子供を取り巻く環境が多様化・複雑化している。また、成人年齢引き下げにより社会的な環境の変化も生じている。これら、変化の激しい予測困難な時代を生き抜くために、我が国の教育には、自らの生涯を社会の中で生き抜き、持続可能な社会の作り手として国際的に活躍する人材の育成が求められている。全国の小・中学校においては、「令和の日本型学校教育」の考え方を基盤とし、学習指導要領の理念である「生きる力」を育む創意ある教育活動を推進するとともに、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を社会と共有し、社会に開かれた教育課程の実現を通して教育成果を示すことが重要である。

そのためには、喫緊の課題であるいじめ、不登校などの様々な問題行動への対応、情報モラルを含む規範意識の確立、特別支援教育の充実、体罰の根絶等の課題を解決する必要がある。また、頻発する甚大な自然災害発生に際し、自ら身を守り、主体的に行動する力を養う防災教育を推し進めていかなければならない。さらに児童生徒が「新しい生活様式」を身に付け、健康な生活を送るための対応力・行動力を育成することも求められる。校長は、これらの多岐にわたる課題の解決に向けて学校経営力を高め、全力を傾注し、国民の信託に応えていかなければならない。

そこで、本年度は、本会の研究主題を「自ら未来を切り拓き 共によりよい社会を創る日本人を育成する学校教育の推進」とし、全国の公立小・中学校女性校長が、共に研鑽に励み、本会の充実・発展と活動方針の具現化に努めることを目指し、次の活動を重点とする。

1 全国公立小・中学校女性校長会の組織の強化と活動の充実

全国公立小・中学校女性校長会と各地区・各都道府県女性校長会との連携を一層密にし、組織の力を強め、活動の充実を図る。

2 自ら未来を切り拓き 共によりよい社会を創る日本人を育成する学校教育の推進

「高い志をもち、つながりを生かしてしなやかに生き抜く子供を育む学校経営」（令和5年度大会副主題）を推進する。重ねて、各地域の課題に即応して、児童生徒の「生きる力」を育てる学校経営に取り組み、教育成果を示す。

3 学習指導要領の理念を実現する創造的な教育課程の充実

生命と人権を尊重し、「主体的・対話的で深い学び」を視点として授業改善に取り組むことにより、「基礎的・基本的な知識・技能」「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」をバランス良く養い、「生きる力」の確実な育成を目指す。そのために、社会に開かれた教育課程を編成し、地域と学校の連携・協働を推進する。

4 「生きる力」を育むための教員の資質・能力の向上

確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成するための指導力、GIGAスクール構想の推進のための高度な専門的知識やICT活用指導力、地域と連携・協働する力などを向上させる。そのために、研修活動の充実を図り、学び続ける教員としての意識を高め、社会から信頼され、尊敬される教員を育成する。

5 特色を生かした学校経営

校長の経営方針のもと、「チーム学校」としての学校経営の具現化を目指し、各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの充実を図り、家庭・地域社会や学校間の連携を強化し、活力ある教育活動を推進する学校経営に取り組む。

6 学校における働き方改革の実現

これまで高い成果を挙げてきた学校教育を維持・向上させながら、持続可能なものとさせていかななくてはならない。そのため、学校組織運営の一層の効率化や人的・物的面の整備等により教員の負担軽減を図り、学校における働き方改革を推進する。

7 男女共同参画社会の促進

一人一人が個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の促進に積極的に取り組むとともに、女性教員の活躍の場の拡大と女性管理職の育成及び登用の促進を図る。



【新たな教育振興基本計画について】

“教育振興基本計画”は、平成18年度に全面改正された教育基本法に基づき、政府が策定する教育に関する総合計画であり、国の教育政策全体の方向性や目標、施策などを定めている。平成20年7月に初めて策定し、昨年度が第3期の最終年度となり、本年6月16日には、新たな計画が閣議決定された。本計画は将来の予測が困難な時代において進むべき方向を指し示す教育の羅針盤となっている。社会の現状や変化としては、「2000年から2040年にかけて、各学校段階に相当する年齢層の人口が約3～4割減少すること」「日本の就業者一人当たりの労働生産性はOECD加盟国38か国中28位」「日本は世界の中でも企業の人材投資が少なく、学んでいない社会人が多い」ことが挙げられる。第3期計画期間中の成果と課題としては、「日本の子供の学力は、PISA調査等の各種国際調査を通じて世界トップレベル」「GIGAスクール構想により一人一台端末が整備され、新たな学びのスタートラインに立ったこと」「学校内外の機関で相談・指導等を受けていない不登校児童の割合増加傾向」「小中学校の教師の1週間あたりの学内総勤務時間が依然として長時間に及んでいる」といったことが挙げられる。

新たな教育振興基本計画のコンセプト

- ①持続可能な社会の創り手の育成
- ②日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上

教育に関連するウェルビーイングの要素は、「自己肯定感」「自己実現」「心身の健康」「幸福感」「安全安心な環境」「多様性への理解」「協働性」「社会貢献意識」「利他性」「サポートを受けられる環境」「学校や地域でのつながり」の11項目が掲げられており、これらを向上させることが重要である。児童の認識を把握するために、全国学力・学習状況調査において質問紙調査の項目に盛り込んで目安とした。

【学校における新型コロナウイルス感染症への対応について】

5類感染症の移行を踏まえ、学校における衛生管理マニュアルを改定し、基本的な感染対策についても見直しを行った。教職員や児童生徒間のコミュニケーションが円滑となり、充実した学校生活にも資することから、児童生徒のマスクの着用は不要と考えている。特定の場面を除き、児童生徒が安心してマスクを外して学校生活が送れるよう、児童生徒や保護者に対して丁寧な情報発信をお願いしたい。

【学習指導要領、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（中教審答申）について】

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方に関する特別部会の下に「義務教育の在り方ワーキンググループ」を設置しSociety5.0時代に向けた今後の学びの多様性について検討している。高等学校についても同様に「高等学校教育の在り方ワーキンググループ」を設置し、論点整理を行った。全国各地の課題に加え、義務教育段階における不登校の増加に伴う高等学校への接続の在り方も言及されている。また、特定分野に特異な才能のある児童生徒への学校における指導・支援の在り方等に関する有識者会議の審議がまとめられている。

【GIGAスクール構想の推進について】

「GIGA StuDx（ギガ スタディーエックス）推進チーム」が、優良事例の情報発信、オンライン相談会・研修会、メールマガジンなどプッシュ型・伴走型の支援活動を展開している。また教職員支援機構と連携した解説動画などオンライン研修プログラムの充実やICT活用教育アドバイザーによる専門的な助言や研修支援も実施している。一人一台端末の活用に地域差がみられることが課題であり、子供自身が学び方を変革していくステージに入っている。GIGAスクール運営支援センターの機能を強化し、自治体間格差解消や学校現場の対応力向上に役立てたい。

【小学校における35人学級の計画的な整備と高学年の教科担任制の推進について】

小学校における35人学級の計画的な整備や教科指導の専門性をもった教師による高学年の教科担任制の推進を図り、義務教育の9年間を見通した指導体制による新しい時代にふさわしい質の高い教育の実現を図るとともに、学校における働き方改革、複雑化・困難化する教育課題へ対応するため、令和5年度においては教職員定数4,808人の改善を行っている。

【教師の資質能力の向上等について】

令和4年の教育公務員特例法の改正により、令和5年4月から各教師の研修履歴を記録するとともに、教師の資質向上に関する指導・助言等を行う仕組みが制度化された。教員研修プラットフォームの構築により、タイミング良く研修が受講できる環境を整備している。学校においては、児童生徒への性暴力等防止についての教職員向け研修を行い、規律を徹底し、根絶を図ってほしい。

【学校における働き方改革等について】

令和5年4月の教員勤務実態調査の速報値によると、前回調査(平成28年度)と比較して、全ての職種において在校等時間が減少したものの、依然として長時間勤務の教師が多い状況である。学校における働き方改革は、特効薬のない総力戦であるため、国・教育委員会・学校それぞれの立場において、取組を着実に推進し、教師が教師でなければできないことに全力投球できる環境整備が必要である。

【特別支援教育について】

直近10年間で、特別支援教育を受ける児童生徒数は倍増している。特に特別支援学級の在籍者数(2.1倍)、通級による指導の利用者数(2.5倍)の増加が顕著である。また、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒は8.8%であり、特別支援教育の専門性を担保しつつ、特別支援級教育に携わる教師を増やしていくことが必要である。

【いじめ・不登校支援・児童虐待対応等について】

コロナ禍における児童生徒の自殺者数は、増加傾向にあり、原因・動機としては「進路に関する悩み」「学業不振」「親子関係の不和」が例年上位である。SOSの出し方に関する教育を含む援助希求の態度の育成、相談体制の整備、ハイリスクな児童生徒の早期発見・対応に資するICTの活用、関係機関との連携体制の点検・見直しが重要である。

記念講演 「叶う夢・叶わない夢」

講師 漫画家 弘兼 憲史 様



○出発点は映画

山口県岩国市に生まれ、幼少期の私は洋画が好きな父に連れられて、よく洋画を観に行きました。字幕も読めない私は話の内容も分からず、ただ絵を観ているだけでしたが、映画を観て帰ってくると、感動したシーンの絵をクレヨンで描いていたそうです。

当時の私は、紙を渡しても渡してもたくさん描くので、紙がすぐになくなり、広告の裏などにも描いていたそうです。最後にはその広告の紙もなくなると、トイレのチリ紙にも描くほど自分が見た絵を再現して描くのが好きだったそうです。ですから、私が漫画家になる出発点は映画だったと思います。

また、偶然にも家の近くに映画の看板屋さんがあり、そこで、映画のシーンを拡大して描く方法や人の鼻の陰の付け方などを学びました。とてもいい環境でした。

そんな私は幼稚園の頃、友達の描く絵を見て、「ふざけて描いている。なぜ、きちんと描かないのだろう」と思いました。私が描いた人の顔を見て、先生が褒めてくれ、「自分は絵がうまいのだ」と初めて気付きました。小学生の頃は数々の賞をもらいました。

○ジャーナリストを目指した

中学校は母の勧めで中学受験をしました。受験勉強の間も勉強が嫌で、部屋で勉強をするふりをしてノートの隅にパラパラ漫画を描いていました。それが今の私を作り上げたのです。

岩国の中・高一貫校に入学し、その学校ではたくさんの優秀な友人と出会いました。後に「島耕作」のモデルとなる友との出会いもありました。その友は、高校からは別の学校に行きましたが、同窓会で再会し、その後、彼が取締役→常務→専務→会長と出世すると共に「島耕作」シリーズも進行させ、島耕作自身も出世させました。

中学・高校の6年間は、好きなことをやりました。音楽を聴く、小説を読む、小説家にもなりたいたいと思ひ芸芸部も作りました。この頃には、だんだんと現実が分かってきて、「漫画家はなりたいたいと思っても簡単になれるものではない。もっと現実味のある仕事をめざそう」と考えるようになり、ジャーナリストになりたいと思うようになりました。そして、「ジャーナリストになりたいなら早稲田大学に行くとい」と言われ、早稲田大学法学部へ入学しました。

○貫き通した夢・・・夢のために努力すること

大学では、漫画研究会に入りました。当時は大学生が漫画を読むのが不思議な時代でしたが、私は好きな漫画を部室で読んで、漫画について語るといふ大学生活を送っていました。学生運動が盛んな時代でしたが、私はそれに参加せず、アルバイトや近所に住んでいた外国人の家へ行き、英語や外国の食事、ワインの味を覚えました。

就職は漫画の技術を生かせる仕事がしたいと思い、松下電器に就職しました。松下電器に入ってから、自分の夢である販売助成部に配属されるために半年間の研修期間中にさまざまな努力をしました。900人中、配属されるのは1人か2人という狭き門に合格するために夢が叶わないかもしれないと思いましたが努力を続け、半年後販売助成部に配属されました。

松下電器では、出世もし、主要な仕事も行っていましたが「やはり自分は漫画家になりたい」という思いが高まり、会社を辞め、ビックコミック賞に応募し、受賞しました。

賞をもらった人が漫画家を続けるというのはとても難しいことです。漫画家になって50年、「島耕作」を描いて40年。今は、漫画の原画を後世に残すことも漫画家としての使命だと考えています。

○努力すれば叶う夢

努力すれば叶う夢（資格を取ればなれる職業）と努力をしても叶わない夢（作家、漫画家、タレント、プロスポーツ選手など）があると思います。子供たちにある一定の時期がきたら、夢を目標という形に変えていくのがよいのではないかと思います。その目標は自分に可能な分野で立てること、いきなり天井のように手が届かないところに目標を置くのではなく、ちょっとつま先立ちしたら届く目標を立てること。その目標に向かって努力をし、目標が達成できたら、またつま先立ちしたら届く目標を立てて努力する・・・これを積み重ねていくうちに、いつのまにか天井まで手が届いていることになるのではないかと思います。

私ははじめは、「一流の漫画家になりたい」と思わずに「1年間連載が切れないうちにしよう」という小さい目標を立て、それを積み重ねて今があります。

実現可能な目標を「夢」とするのがよいのではないかと思います。

地区情報交換

【北海道地区】

北海道公立小・中・特別支援学校女性管理職会は、今年度8月に「第49回研究大会 空知大会」を開催した。4年ぶりの対面式開催に期待の高まる研究大会となり、校長及び副校長・教頭提言をもとにした研究協議、分科会、講話等にて職能向上や後輩育成に向けた研鑽を積み、全道会員の親交を深めた。また、同日、令和6年度開催予定の全国大会の実行委員会も行い、オール北海道で準備に取り組んでいるところである。

【東北地区】

東北地区は、山形県、福島県、青森県による取組が最後となった。主な取組は、福島県南相馬市で開催される対面形式の東北大会、山形県脱退による、令和6年度以降の組織の再編、公立小・中学校女性校長会の東北地区の活動をいかにして継続していくかを検討していくことである。令和8年度東北地区青森県開催の全国大会の準備と合わせながら、東北理事会のもち方等について、情報交換や研修の充実に努めていきたいと考えている。

【関東地区】

関東地区では、5月11日に埼玉会館において、対面で第1回役員・理事研究協議会を実施し、今年度の活動がスタートした。7月7日の総会及び研修会（千葉大会）では、子育てシンガー MON 氏を講師に「生まれてきてくれてありがとう」の講演会を実施した。さらに、11月の正副会長会、2月の第2回役員・理事会において、令和6年度総会・研修会（埼玉大会）に向けて方向性を確認していく。

【東京地区】

5月20日に参集して総会を開催し、今年度の活動がスタートした。3年間実施した教員のキャリア志向に関するアンケート結果を踏まえ、女性管理職が活躍する姿を増やすために、具体的な教員の声を集め、人材育成や教員のキャリア志向形成に資する研究を続ける。また、令和7年度全国公立小・中学校女性校長会東京大会の準備が始まった。全国の仲間と東京会場で共に学びを深めることが楽しみである。

【中部地区】

10県で組織されている中部地区は、昨年度、全国大会を兼ねた中部大会「石川大会」を開催した。コロナ禍によりオンライン及びオンデマンドでの開催となったが、中部地区をはじめ、全国から参加いただくことができた。

本年度は7月12日にオンラインで第1回の理事会を行い、今後もオンラインで情報交流を行いながら、来年度の中中部大会（岐阜大会）の開催の準備を進めていく。

【近畿地区】

近畿地区では令和4年度末より対面での理事会を再開した。今年度は5月に第1回近畿理事会を開催し、7月28日の近畿大会大阪大会に向けての協議をした。コロナ禍を経ての久しぶりの参集型の大会となる大阪大会の成功に向けて、これまでの成果と課題を検証しながら準備を進めている。また、府県理事で各地方の情報交換をして親交を深めた。対面の良さを改めて感じる事ができた。

【中国地区】

ポストコロナ時代を迎え、中国地区では、各県で、会員同士のつながりを大切に、対面による資質向上研修を行うことができるようになってきている。とりわけ、山口県では、「第73回全国公立学校小・中学校女性校長会 全国研究協議大会 山口大会」への開催に向け、準備が進んでいる。また、周辺県においても、山口大会の成功に向けて、できる限り多くの会員の参加を促し、研修を深められるよう用意をしているところである。

【四国地区】

四国四県とも、会員が増加傾向であり、各県において充実した研修に努めている。第25回徳島大会、第26回香川大会は誌面発表となったが、現在、令和6年に開催予定の第27回四国地区公立小・中学校女性校長研究大会愛媛大会に向け、準備を進めているところである。今回は参集して開催し、四国地区女性校長会の研修と交流を深めていきたい。

【九州地区】

「第56回九州地区公立学校等女性管理職研究協議会 鹿児島大会」は、ハイブリッドで8月2日に開催した。県内会員は参集、各県は20人程度の参集とオンライン参加とし、分科会と講演（演題「サステナブルな働き方を考える」）、全体講評を中心に全てを配信した。定着しつつあるハイブリッド型開催で、より充実した研修会を目指した。コロナ禍からの転換期に各県では開催方法等工夫を凝らした研修を行っている。

【中学部】

一人一台の学習用端末は、ネット環境も整いICTを活用した授業の推進が、各教育委員と連携を図り進んできている。行事等も新しく形を変えて工夫しながら実施している。教員の働き方改革も徐々にではあるが進んでいる。しかし、女性管理職の登用は依然として課題である。また、東京では教員不足が深刻化している。人材育成の重要な課題である。さらに部活動の地域移行についても、地域格差が大きい。様々な教育課題について、今後も各理事と情報交換を行い、改善を図っていききたい。

令和6年度
第74回 全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会 **北海道大会**

大会主題 **自ら未来を切り拓き 共によりよい社会を創る
日本人を育成する学校教育の推進**

～確かな学びとしなやかな心を礎に 未来に向かって共に挑戦する子供を育む学校経営～

期 日 令和6年8月1日(木)・2日(金)

開催地 北海道 札幌市

会 場 京王プラザホテル札幌



分科会主題および分散会協議題

分科会	分科会主題	分散会協議題		提案・司会
第1分科会	「生きる力」を育む 学校経営	①	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な 充実を図り、自ら未来を切り拓く力を育む学校経営	岡山県
		②	校種間の円滑な接続を見据えたカリキュラム・ マネジメントの充実を図り、主体的・創造的に 生きる力を育む学校経営	広島県 (中学部)
第2分科会	教職員の資質・能力の 向上を図る学校経営	③	教師としての専門性や指導力の向上を図り、 「教師力」を高める学校経営	福島県
		④	教職員の参画意識・協働意識を高め、組織 の活性化を図る学校経営	鹿児島県
第3分科会	新たな課題に取り組 む創意ある学校経営	⑤	学校組織マネジメントを生かし、新たな課 題に取り組む創意ある学校経営	愛媛県
		⑥	学校、家庭・地域社会がつながりを深め、 新たな課題に取り組む創意ある学校経営	滋賀県

令和5年度 第2回 理事会のお知らせ

期 日 令和6年1月20日(土) 午前10時00分から

会 場 東京・アルカディア市ヶ谷

第75回 全国公立小・中学校女性校長会
全国研究協議大会

東京大会

期 日 令和7年7月31日(木)・8月1日(金)

開催地 東京都 目黒区

会 場 ウェスティンホテル東京

